

生理整頓

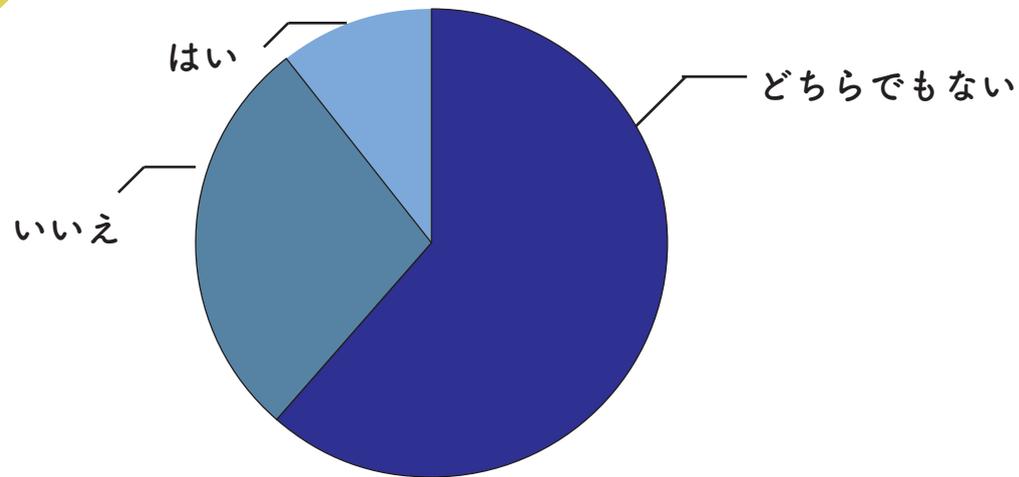
Seiri Seiton



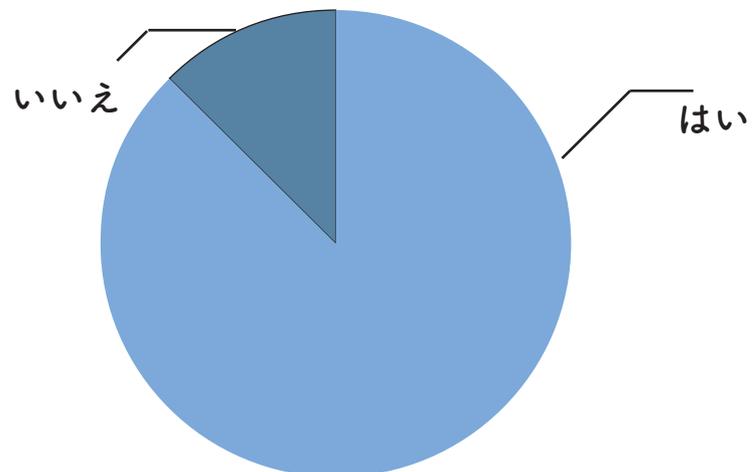
男女約 100 人に聞いた生理についてのアンケート

《女性》

・ 男性は生理について理解があると思う

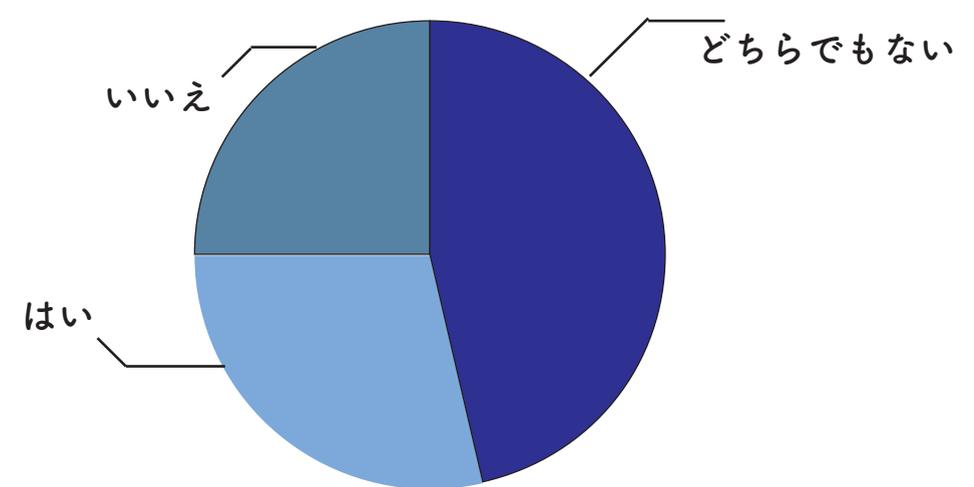


・ 生理中 / 前後に生理痛含む眠くなる、貧血、頭痛などの症状がある

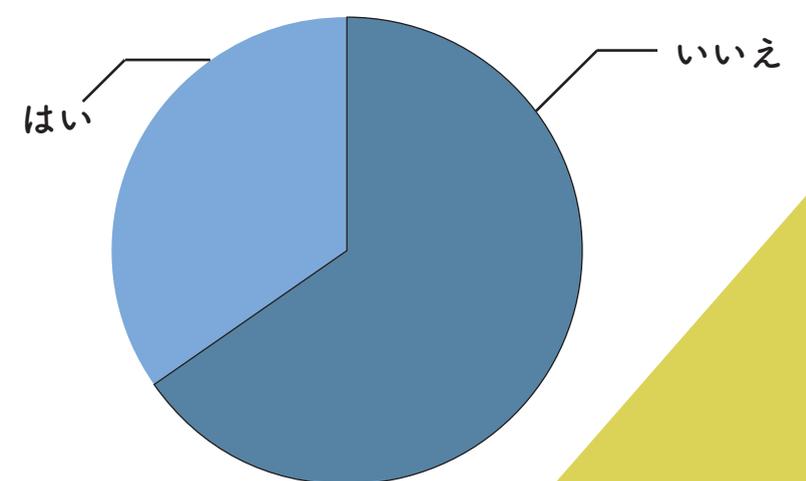


《男性》

・ 自分は生理に理解があると思う



・ 生理中 / 前後にどのような症状があるかわかる



生理痛疑似体験

半数以上の女性が生理痛に悩まされている。

しかし男性だけでなく女性同士でもその辛さが伝わらない時もあるのです。そこでこの体験を通して生理をより身近な問題として捉えてもらいたい。



感想

《用意するもの》

- ベルト
- おもり (5~8kg ほどのもの)

圧迫感があり苦しかった
締め付けられている感覚と上から
抑えられている感覚を体感出来て
腹痛の痛みとは少し違うと思った

02 パッケージの多様化



近年、ナプキンのパッケージ問題が注目を浴びています。ナプキンを「隠さない」という選択肢が求められ有名デザイナーとのコラボパッケージや従来のナプキンのイメージを変えるシンプルなデザインが話題になりました。ですが、やはり「隠したい」と思う方がいることも事実。

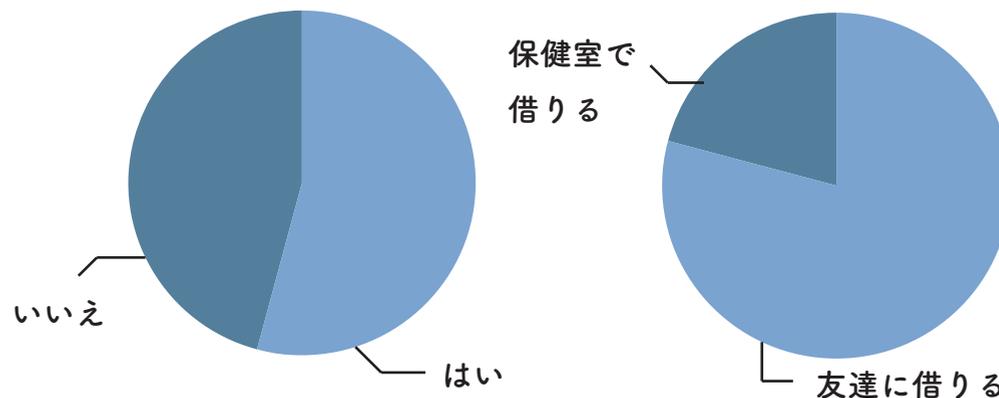
そこで提案するのは「パッケージの多様化」です。

「隠す」という選択も「隠さない」という選択も尊重するパッケージを普及させていくことが大切だと思います。

03 教育機関への無償提供

・ナプキンを常に持っている

・持っていなかった時
どうしますか



昨今、生理の貧困という言葉をよく耳にします。

実際にアンケートの中にも「生理用品にお金がかかる」「高い」という悩みを書いている方もいました。

そこで私が提案するのは、小学校～大学までの教育機関へのナプキンの無償提供です。

それに加えて上記のアンケートではナプキンを常に持っているかという質問に対して「いいえ」と答えた方がおよそ半数おり、その方を対象に持っていなかった場合どのようにするか聞いたところ半数以上が「友達に借りる」と答えています。小・中学生の間はまだ周期も不安定で思いがけない時になってしまうことも少なくありません。その時学校のトイレにナプキンがあれば安心なのではないでしょうか。